

# 生意気ナツキはあなたに勝ちたい

ゝ挿れただけで勝手にイっちゃう弱くて強気なボーイッシュゝ

2021/02

音声サークル『ライオクライオ』

この台本データは初稿バージョンです。実際の音声と異なる箇所がございます。  
ト書きはほぼそのままですが、特殊文字や一部ワードは公開用に省いています。

主人公の部屋。

主人公とナツキがレースゲームで競い合っている。  
コントローラーの操作音が部屋に響く。

《◆左/30cm 前方を向きながら》

ナツキ「う……う……おつ……よし……」

ナツキ、主人公にこうらを当てて抜かす。

ナツキ「っしやあざまあ……勝てる、勝てる、勝てる……」

主人公、こうらを当て返してギリギリで勝利。

ナツキ「うあ！ マジか！ お前！」

（悔しそうに丸まったりのけぞったり）

ナツキ「はあ……負けたあ……。今の勝てたよ、はあ……」

ナツキ「てかお前だけアカこうら出すぎだろ。チート使ってるじゃねーの」

使ってねーよ。

ナツキ「使ってたろ、お前FPSじゃなかったらチート使っていると思ってるだろ」

ナツキ「はあ……うやあしいい」

ナツキ「もうやんねー。今日は勝てねえ気がする」

ナツキ「無理無理、ダメ。つか結構やったし、そろそろ飽きるだろ」

コントローラーを置き、ゲームの電源を落とす。

《◆左/30cm マイクに向く》

ナツキ 10 「んー？ 楽しかったよーそりゃあ。お前とゲームするのは楽しいよ。勝てりゃもつと楽しいけど」

ナツキ 11 「てか結構容赦ないよな」

《◆左/10cm 『彼女がく』で煽りながら近づく》

ナツキ 12 「せっかくの家デートなのにさあ、彼女がご機嫌斜めになったらどーすんだよ」

ナツキ 13 「そんなヤワじゃない？」

ナツキ 14 「はっ♪ 勝手に煽つとけ」

ナツキ 15 「あ、じゃあさー」

《◆左/耳元 ここから囁き》

ナツキ 16 「（一呼吸）」

ナツキ 17 「いつものやつで、もうひと勝負するか？」

ナツキ、ズボン越しに股間をさする。

《◆左/0cm ニュウから小声》

ナツキ 18 「くす♪ まあ、勝ち逃げでもいいけどー？ まあ、逃げ、だよなあ」

ナツキ 19 「こつちなら正々堂々戦えそうだし？ お前も気持ちよくなれるもんなー♪」

ナツキ 20 「（吐息）……なあ、今日はどんな感じ？ 溜まってんの？ すぐぴゅっぴゅしちまいそうか？」

ナツキ 21 「だらうなあ。お前がムラムラしてる時は、決まって家デートだもんなあ」

ナツキ 22 「ちんぽ差し出して、シコシコ、ぴゅっぴゅって、気持ちよおく搾られてえから、アタシを家に呼んでんだろ？ ホント最低だよなー♪」

ナツキ 23 「自分が何してるか、分かってんのお？」

ナツキ、ズボン越しに爪でカリカリと引っかく。

ナツキ 24 「ははっ♪ どんどん膨らんでやんの」

《◆左／＼耳元 ここから囁き》

ナツキ 25 「かりかり♪ かーりかり♪ かりかり♪ かーりかり♪」

ナツキ 26 「どーしたあ？ 引っかいてるだけだぜ？」

ナツキ 27 「（吐息）……ゲーム始まってねえのに、もうちんぽやばいなあ？ 大丈夫かあ？」

ナツキ 28 「まあ、お前のちんぽは、ざこちんぽだもんなー♪」

《◆左／＼10cm ここから普通の声量》

ナツキ 29 「なあに？ 自信あんの？」

ナツキ 30 「じゃあ今日は、十分勝負」

ナツキ 31 「五分？ 自信あんだろ？ 十分」

ナツキ 32 「十分間、アタシの手コキに耐えられたら、好きに罰ゲーム決めろよ」

ナツキ 33 「でも、もし漏らしたら、そうだなー」

ナツキ 34 「あ、漫画おごってくれよ♪ 全巻」

ナツキ 35 「この前ダチに誘われてさ、映画見たんだけど……そうそれ……結構面白かったから漫画も読んでみたいんだよなー」

ナツキ 36 「全巻買うくらいお前なら余裕だろー?」

(『逃げて』を強調、挑発するように)

《◆左/耳元 囁き》

ナツキ 37 「で、どーすんの? 乗る? 逃げてもいいけど」

主人公、ズボンを脱ぐ。

《◆左/10cm》

ナツキ 38 「あはは♪ やるんだな♪ いいぜ? ちんぽ見せろよ。こつちも準備しとつからー」

ナツキ、前でタイマーを設定しておく。

《◆左前/30cm 前方を向く》

ナツキ 39 「(鼻歌) ふつつつふーん♪ うっし、タイマーセツト」

脱ぎ終わる。

ナツキ、戻って主人公に密着。

《◆左/0cm 動きながら、ここから小声》

ナツキ 40 「(吐息) ……すげえ勃起してるし♪ そんないじめられてえんだ?」

ナツキ 41 「くす♪ じゃあいくぜ?」

ナツキ 42 「十分間の手コキ我慢、スタート♪」

タイマーが押される。

ナツキ、開始と同時にフェラを始める。

《◆正面下/30cm 動きながら。ここから普通の声量》

ナツキ43 「……はあ、はむっ♪」

(小さくピストンするような動き。驚いてる主人公を見て途中で少し笑う)

ナツキ44 「むちゅぶ、ちゅぶ、ちゅぶ♪ くす♪ れる、ちゅぶ、ちゅぶ、ちゅぶ、ちゅぶ♪」

ナツキ、手コキしながら煽る。

ナツキ45 「んー？ 手コキしかしねえとは言ってねえだろ♪ ちゃんとルールを設定しなかったお前が悪い♪」

ナツキ46 「っーか、ちよつと舐めただけでぶっくり膨らんでんじゃん♪ これ、もつと舐めていいってことだろ？」

ナツキ47 「はあむっ♪ ちゅぶ、ちゅぽ、ちゅぶ、ちゅぶ♪ ちゅぶ、ちゅぶ、れる、むちゅぶ♪」

ナツキ48 「れるれる、れるれる♪ れろれる、れるれる♪」

ナツキ49 「あむっ、ちゅうう♪ ちゅぽ♪」

ナツキ50 「足の指、ずっとぐーぱーしてやんの♪ 必死に耐えてんのバレバレ♪」

ナツキ51 「れる、ちゅぽ♪ さっさと負けを認めりやいいのに♪ れる♪ そしたら口の中に、たっぷり出させてやるぜっ。」

ナツキ52 「ほら、今度は奥まで」

ナツキ53 「あああ……あむ」

(大きくゆっくりピストンするような動き)

ナツキ54

「じゅぶぶ、じゅぽ、じゅぶ、じゅぶ、じゅぶ、じゅぶ、  
ん、れるれる、れるれるる♪ んん、じゅぶ、  
じゅぶ、じゅぶ♪ ん、じゅぶ、じゅぶ♪ ちゅば」

ナツキ55

「へえ、耐えるんだあ」

《◆左/0cm 動きながら。二〇〇から小声》

ナツキ56

「ん……しよ」

ナツキ、手コキで攻める。

ナツキ57

「ただいま♪ 休憩はさせねえから♪ シコシコ♪  
シコシコシコ♪」

ナツキ58

「見てみ？ よだれまみれで、ちんぽテカってんの。  
くす♪ ぐちゅぐちゅ、ぐちゅぐちゅ。エロい音」

ナツキ59

「このまま、ちんぽ逆手で持って、乳しぼりみてえに  
手え動かしてやつから、どぴゅどぴゅって、ミルク出  
しちまえよ。きつとのけぞるくらい気持ちいいぜ?」

ナツキ60

「(吐息) はあ、はあ」

ナツキ61

「んー? マジで我慢する気かよ」

《◆左/耳元 ここから囁き》

ナツキ62

「じゃあ……今負けを認めりや、好きなとくにぶつか  
けさせてやる♪」

ナツキ63

「すべすべな手のひらでも、(舌なめずり)、ねつと  
りな口の中でも……お前の腕に当たってる、このおっ  
ぱいで、ズリコキしてやってもいい」

ナツキ64 「ああ、お前変態だったな。違うところがいいか？」

(ゆっくりしゃべって羅列する)

ナツキ65 「ワキとか、太ももとか、お尻とか、足裏とか」

ナツキ66 「亀頭こすり付けながら、俺のものだぞーって、たっぷりマーキングすんの。なあ、どこがいい？」

《◆左/10cm ここから普通の声量》

(恥ずかしそうに)

ナツキ67 「ん、まんこはダメに決まってるだろっ……まだ、そういうタイミングじゃねーっつーか……その」

ナツキ68 「んだよ意地悪！ 聞く気ねえんだったら最初っから断れ」

ナツキ69 「くっそ、こうなったら……」

《◆左/耳元 ここから囁き》

ナツキ70 「逃げんなよ？」

(吐息交じり、舐めまわすような耳舐め)

ナツキ71 「あむっ……れえる、れえる、れえろ、れえる♪

はあ、れえろ、れえる♪ ん、はあ、れる、れる、れる、れる」

ナツキ72 「腰ひねっても無駄無駄。ぜってえ逃がさねえから」

ナツキ73 「はあむ、れる、れる、れる♪ はむ、れえろ、れえろ、れる、れる♪ はあ、れえーる、れえーる♪ れろれるろれるろ♪」

ナツキ74 「なんつー顔してんだよ♪ さっさと出しゃいいのに」



《◆右／耳元 動きながら》

ナツキ 75 「ん……はあ」

ナツキ 76 「我慢なんてやめて、ぴゅっぴゅ♪　ぴゅっぴゅって、  
しょーぜっ。」

（射精する手ごたえが無く、少しずつ慌てる）

ナツキ 77 「はあむっ♪　れるれろ、れるれる♪　はあ、れえろ、  
れえるれる♪　んん？　はあ、れろ、れる、れるれる。  
れるれろ、れるれる」

（口調も耳舐めも慌て気味）

ナツキ 78 「お、おい。ホントに我慢するつもりじゃねえよな」

ナツキ 79 「お前の罰ゲーム、ロクなことがねえんだよ」

ナツキ 80 「んなあ、そろそろ出そうぜ？　な？　な？」

ナツキ 81 「はむっ、れるれる、れるれる。れえろ、れる、れる。  
はあ、あむっ、れるれる、れるれる、れるれる。

ぶあ」

《◆右／10cm ここから普通の声量》

ナツキ 82 「もしアタシが負けたら、何させる気だよっ」

ナツキ 83 「……リモコンローター？　学校で？　嫌だ。嫌に決  
まってるんだろっ」

《◆正面／0cm 動きながら》

ナツキ 84 「くっそ、こっち向けー！」

ナツキ、優しく口内をかき回すディープキス。

《◆正面/0cm キス》

ナツキ85 「ああむ。れる、むちゅ、ちゅぶ、れる……んっ、ちゅぶ、ちゅー、れえるれるれる、れるれるれる」

ナツキ86 「大好きなキスコキだぜ？ ちんぼも両手でしごいてやる♪ お前が負ける♪」

ナツキ87 「れるれる、れるれる。ちゅぶ、れえろ、れるれる、れえる。ちゅぼ、れろれろ、れるれるれる」

主人公、ナツキの女性器をいじり始める。

キスしながら甘い声が漏れる。

ナツキ88 「ん、んんっ？！ ん、んん♪」

【ここから、敏感に反応して声が震える感じで】

《◆正面 10cm》

ナツキ89 「ぶあ……ばかあ♪ 下着に手え入れんな♪ まんこいじんなあ♪ あ、あああ♪ 反則だろお♪ お、おお、おああっ♪ あ、ああ♪」

ナツキ90 「そんなルール設定してないだと？ あ、あう♪ くっそお♪」

ナツキ91 「ぜってえ……ぜってえ負けねえ♪」

《◆正面/0cm 喘ぎながらキス》

ナツキ92 「はむっ♪ れろれろ、れるれる♪ ん♪ れるれる、れるれる♪ んん♪ れるれる♪」

ナツキ93 「そこ、だめ♪ あ、あああ♪ んん♪ れろれる♪ はあ、ううう♪ れるれる、れるれる♪」

ナツキが先に絶頂してしまう。潮を吹く。

(『いくいぐ』から、より低めの声質に)

《◆正面10cm》

ナツキ 94

「あーくそお♪ なんでもそんな上手いんだよお♪  
はっ、あ、あっ♪ あああっ♪ だめ♪ いく♪ い  
く♪ いくいぐ♪ (絶頂) あっ♪♪♪ あああ♪  
ひああああ♪ は、あああああ♪」

ナツキ 95

「あ、だめえ♪ やめろ♪ 吹いてる♪ 潮吹いて  
る♪ ああああ、あああ♪ いってるか、らあ♪ 指、  
止めろ♪ お、おああああ♪」

ナツキ 96

「時間やばっ♪ 早く♪ 早くう♪」

絶頂しながら必死にキスコキ。

途中でタイマーが鳴る。

《◆正面10cm キス》

ナツキ 97

「んんん♪ むちゅぶ、ちゅ、んん♪ ちゅ、れる、  
れる♪ んああ、ああ♪ ん、れるちゅぶ、ちゅ、ん  
ん♪ れる、れる、ちゅぶ、あああ♪ ああああ♪」

主人公、タイマーが鳴っても指を止めない。

《◆正面10cm》

ナツキ 98

「負け、た♪ 負けた、からあ♪ も、まんこ、やめ、  
ろお♪ あ、あああ♪ 負けました♪ 負けました負  
けましたあ♪ えあああ、あああ、おっ、おおお♪」

ナツキ 99

「くっそお♪ お前がやめねえなら、アタシもずっと、  
じいいてやるう♪ っの♪ っのお♪」

射精へ近づいていく。早い手コキ。

(声を漏らしながら、激しくかき回すなキス)

《◆正面/0cm キス》

ナツキ100

「あむっ♪ れる、んん、むちゅぷ、れるれる♪  
あああ、れるれる♪ んっ♪ れろれる♪ あむっ  
ちゅ、れるれる、れろれる、れえるれる、んん♪」

ナツキ101

「ああ？ いきそ、なのかな？ はあ、おせーよばー  
か♪ はあ、いけ♪ いっちまえ♪ 両手にたっぷり  
出せ♪」

舌がうごめく激しいキス。

射精へ。同時にナツキも潮吹き。

(射精に近づくにつれて声質低めに)

ナツキ102

「れるれるれるろ、れるれるれるれる♪ あああ、  
アタシも、いく♪ いくいくいくっ♪ いっぐ♪ ん  
ちゅ、れる(射精) んんんっ♪ んっ♪ んん♪  
れるれる、ちゅ、れるれる♪ れる、ちゅ、んん♪  
ちゅぷ」

優しく手コキ。

ナツキ103

「ん、はあ、はあ……全部出せよ、ほら……ちゅ、れ  
る、ちゅ……はあ、れるれる……ちゅううう」

ナツキ104

「ぶあ……はあ、はあ」

【ここから普通に喋る(若干疲れ気味)】

《◆正面/10cm》

ナツキ105

「くっそ。負けちゃった」

ナツキ106

「んだよその顔。今度から十五分勝負にすんぞ？」

ナツキ107 「負けは負けだし、約束は守るけどさあ」

(恥ずかし)

ナツキ108 「ローター、するけど、さあ」

ナツキ109 「せっかくの家デートだろ？ 今日、優しくしてくれよ」

主人公、ナツキにキスをする。

《◆正面/0cm キス》

ナツキ110 「あ……ちゅ……えへへ、ありがとな……ん、ちゅ、ちゅ、ちゅ、ちゅ♪」

可愛いよ。

ナツキ111 「んー？ うるせえ。可愛くねえよ……ちゅ」

ナツキ112 「お前そういうトコあるよなー。アタシに可愛いは誉め言葉じゃねーだろ。眼科行け」

ナツキ113 「ちゅ……次可愛いって言ったら、シコった手で殴んぞ。ちゅ……大人しくキスしろ……ん、ちゅ、ちゅ、ちゅっ♪」

(01-END 3200文字)

学校のチャイムが鳴る。

ナツキ、友人のマナミと話している。

《◆正面やや右/50cm》

ナツキ<sup>114</sup> 「あーごめん、今日部活休むわ」

ナツキ<sup>115</sup> 「どーせテストちけえし、みんな来ねえだろ」

ナツキ<sup>116</sup> 「おう。マナミも頑張れよー♪」

『あはは』と笑ったところで、ローターが動く。

ナツキ、声を押し殺して我慢する。

ナツキ<sup>117</sup> 「はあ？ いや勉強しろし♪ あはは♪——あつ、ん。  
ん。んん……んんん」

足がすくむ。

ナツキ<sup>118</sup> 「あ、いや……あああ、んっ」

ローターが止まる。

ナツキ<sup>119</sup> 「大丈夫っ」

ナツキ<sup>120</sup> 「えーっと、アレだよアレ。最近貧血気味でさー」

喋っている途中でまた動き出す。

ナツキ<sup>121</sup> 「そうそう、分かるだろ？ 困るよなあ♪——あつ、  
はあ。んん、ううう……ん、んんっ……んっ」

止まる。

ナツキ<sup>122</sup> 「そ、そうだな。体調悪いかもな」

ナツキ<sup>123</sup> 「わりい、早く帰るわ。ごめんなっ。」

ナツキ、こちらに歩いてくる。

《◆右/30cm 前方を向く》

ナツキ124 「大丈夫。こいつに送ってもらうから」

ナツキ125 「おう、ありがと。じゃーなー♪」

ナツキ、主人公を連れて教室を出る。

《◆右/30cm マイクに向く》（やや小声）

ナツキ126 「いくぞ……」

早歩きで階段をのぼる。

《◆右斜め前/30cm》

ナツキ127 「はあ、はあ……こつち来い……はあ、はあ」

《◆正面/30cm》

ナツキ128 「ふう……あーのーなあ！ 授業中にやんな！ あれわざとだろー！」

《◆正面/10cm 迫って叱る》

ナツキ129 「バレたらお前もマズイんだからな！ ったく！」

《◆◆正面/30cm》

ナツキ130 「もう外していいだろ？ 罰ゲームは終わりだ」

途中でまたローターが動き出す。

ナツキ 131

「はあ？ 『家に帰るまでが』って、遠足かよ。じゃあ早く帰んぞ——おっ♪ おおお、おああ♪」

主人公、腕を後ろに引いてリモコンを遠ざける。

ナツキ、腕を伸ばして奪おうとするが届かない。

《◆正面/10cm 奪おうとして近づく》

ナツキ 132

「やめっ、それ貸せっ」

《◆右/10cm 奪おうと動きながら》

ナツキ 133

「リモコン貸せっ、貸せええ〜……」

リモコンを奪えず、そのまま悶えながら主人公に抱きつく。

《◆右/0cm 1111から小声》

ナツキ 134

「ああ♪ ああっ♪ あ、ああ♪」

ナツキ 135

「はあ、頼む……とめろ……はあ、あああ♪

ああ、ああ♪ んっ♪」

ローターが止まる。

ナツキ 136

「はあ、はあ……ほんと、変態。お前変態だよ」

ナツキ 137

「や、褒めてねーし」

ナツキ 138

「いいから、早く帰ろうぜ……」

ナツキ 139

「ん、なんだよ」

ナツキ 140

「は？」

《◆◆正面/30cm 『お前まさか』で動きながら。こ

こから普通の声量》

ナツキ 141

「お前まさか……うつわ、立ってる」



ナツキ 142 「これ……しないと、ダメか？」

ナツキ 143 「はあ、分かったよ」

ナツキ 144 「屋上に上がる階段だから、フツー誰も来ねえと思うけど、下見張ってる」

ナツキ、しゃがむ。

《◆正面下/30cm 動きながら》

ナツキ 145 「（一呼吸）」

ナツキ 146 「脱がすぞ」

ナツキ、主人公のズボンを脱がす。

ナツキ 147 「ん……はあ」

ナツキ 148 「うわっ♪ ぶるんって♪ どんだけ興奮してんだよ♪ 血管浮き出てるし♪ やべえ」

ナツキ、男性器を嗅ぐ。

（やや右へ）

ナツキ 149 「すんすん……すーん、はあ……なまぐさ♪」

（やや左へ）

ナツキ 150 「すんすん……学校で自分の彼女に、こんなもんしゃぶらせんだっ」

（やや右へ）

ナツキ 151 「すー、はあ……最低なちんぽだな♪」

（正面に戻る）

ナツキ 152 「でもさ、言うことあるんじゃないか？」

ナツキ 153 「フェラしてほしいんだったら、お願いが必要だよなあ？」

ナツキ154 「『変態ちんぽ、しゃぶってください』って、お願いしろよ♪」

ナツキ155 「何恥ずかしがってんだよ。アタシのほうがよっぽど恥ずかしいっての」

ナツキ156 「あ、ローターで脅しても無駄だぜ？ その気になりゃ走って逃げっから」

ナツキ157 「ほら、『変態ちんぽ、しゃぶってください。お願いします』♪ 言えねえのか？」

(右へ、左へ、揺れて煽る)

ナツキ158 「んー？ んー？ 聞こえねえなあ♪」

(『お願いします』と敬語で言われたので、ナツキもわざと敬語で返す)

ナツキ159 「ははっ♪ よく言えましたあ♪ 変態ちんぽ、しゃぶってあげますよお♪」

ナツキ、男性器をキスして、啜える。

ナツキ160 「んーちゅっ♪ くす♪ はあ……あむっ♪」

(啜えながら喋る)

ナツキ161 「んふふ♪ もうビクビクしてやんの♪ ざこちんぽ♪」

(小さくピストンする動き)

ナツキ162 「んちゅぶ、ちゅぽ、ちゅぶ、ちゅぶ♪ はあ、れる、ちゅぶ、ちゅぽ、ちゅぽ、ちゅぶ♪」

ローターが動く。

(啞えながら喋る。声が震える)

ナツキ163

「んん♪ んんん♪ んんっ♪ ばかあ♪ 止める♪  
ん、んん♪ れる、ちゅぶ、んんん♪ うまく、しゃ  
ぶれないだろお♪ あ、あああ♪ あああ♪ ん、ん  
ん♪ ちゅぶ、ちゅぽ、んんん♪」

ローターが止まる。

ナツキ164

「はあ、はあ……これ、すぐ終わらせねえとマズイ。  
一氣にいくぜ?」

(早くピストンする動き)

ナツキ165

「ん、じゅぶ、じゅぶ、じゅぽ、じゅぶ、じゅぽぽ♪  
れる、ん、じゅぶ、じゅぶ、じゅぶ、じゅぽ♪」

ローターが動く。

【ここから声を震わせながら】

(啞えながら喋る)

ナツキ166

「ふあああ♪ 邪魔すんなあ♪」

喘ぎながら辛うじてフェラ。

(明らかにスピードが落ちる)

ナツキ167

「じゅぶ、じゅぶ、んん♪ じゅぶ、んああ♪  
あ、あああ♪ じゅぽ、んん、じゅぶ♪ じゅぶ、  
じゅぶ♪ あああっ♪ んんん♪ ん、んん♪」

へたり込む。

ナツキ168

「ぶあ……ああ、あ、あああ♪ やべえ、足に力入ん  
ねえ♪」

口を開けて舌を伸ばすが男性器に届かない。

(口を開けながら喋る)

ナツキ169

「ああ、ああ〜♪ ちんぽ届かねえよお♪  
ああ〜♪ 勃起しすぎ♪ ビクンてすんなあ♪  
ああ〜♪ あ、ああ〜♪ 届かねえ♪」

ナツキ、絶頂。途中で声を我慢する。

ナツキ170

「む、無理♪ しゃぶんの、無理い♪ あ、あああ♪  
だめ、いきそ♪ いく、いく♪ はあ、あっ♪ いっ  
ぐ♪ (絶頂) あっ♪ ああ♪ んんっ♪ んん、ん  
んっ♪ んっ♪ んっ♪」

大きく呼吸して刺激に耐えようとする。

ナツキ171

「ふー♪ ふー♪ ふー♪ うううう♪」

ナツキ、とろとろな声で懇願する。

ナツキ172

「と、めろ♪ 止めろ♪ だ、め♪ 止めて♪ いっ  
て♪ あっ♪ いってる♪ いってるか、らあ♪ 止  
めて♪ 止めて、え♪ ふー♪ ふー♪」

喋ってる途中でローターの振動が『強』になる。

ナツキ173

「はあ？ お、おお、お願いしろっての？ 誰がそん  
な、恥ずかしいこと——おっ♪ おおお♪ ら、  
めえ♪ 強くしちや、らめ、え♪」

《◆正面下/30cm 下を向く》

(『いッ♪ あ、ああ』思わず大きい声)

ナツキ174

「あッ♪ あああ♪ は、あああ♪ また、い、く♪  
いくいくいくいく♪ (絶頂) いッ♪♪ あ、  
ああ♪ んん♪ ん、んんッ♪ んッ♪ んん♪  
はあ、はあ♪」

息も絶え絶え。

《◆正面下/30cm マイクを向く》

(余裕無さそうに、わざとアクセントを揺らす)

ナツキ175

「わ、分かったあ♪ 言う言う、言うからあ♪ はあ  
はあ、変態、変態まんこ♪ いきました♪ はあ、い  
きましたあ♪ はあはあ、これ、止めてくださいい♪  
お願い、します、ううう♪ う、うう、あッ♪ ん、  
ん♪ んん♪」

ローターが止まる。

ナツキ176

「はあ♪ はあ♪ はあ♪」

【声の震えが収まっていく】

ナツキ177

「はあ……くっそ……ばかみてえに勃起しやがって。そんなに楽しいかよ……はあ、はあ」

ナツキ、負けず嫌い発動。

ナツキ178

「お前がその気なら、アタシだつてっ」

服をめくって胸を出す。

ナツキ179

「ん、しょ……ほーれ、おっぱいだぞー♪ お前の大好きなパイズリで、ズリコキしてやる♪ しゃがんで股開け」

主人公、しゃがむ。

ナツキ180

「よし♪ ちょっと腰浮かせる……おっけー♪」

ナツキ181

「このままお前のちんぽを、左右から、ぎゅっぎゅっぎゅっ♪」

ナツキ182

「ははっ、圧迫感すげえだろ♪ 彼女の生乳で、ちんぽ潰された気分はどうだ？ 幸せか？」

ナツキ183

「そりや良かったな♪ 我慢汁どばどば出てるし♪ これ、全部吸い出してやるよ♪ いくぜ？」

男性器に吸いつく。

ナツキ184

「はむっ、ちゅう、ちゅうううう♪ ちゅぶ、ちゅ、ちゅうううう♪ はは♪ 腰ガクガク浮いてやんの」

ナツキ185

「あむっ、ちゅぶ、ちゅぶ♪ ちゅうううう♪ ちゅぶ、ちゅぽ、ちゅううううう♪ ぶはっ♪」

ナツキ186 「ほぐれてきたな♪ んじゃ、ちんぽ潰したまま、上  
下にズリコキしてやつから♪ お前も恥ずかしい声出  
せよ？ セーの♪」

ナツキ、胸で男性器をリズムカルにしごく。

ナツキ187 「ふ、ん、ん、ん、ん、は、ん、ん、んっ♪」

ナツキ188 「ぱん、ぱん、ぱん、ぱん♪ ぱん、ぱん、ぱん、ぱ  
ん♪」

ナツキ189 「ははっ♪ エロい音♪ 誰かが聞いてたらどうしよ  
うなー？ こっそりズリネタにされたりしてな♪」

ナツキ190 「ほれ、ちゃんと見ろよ♪ クラスの男子がみーんな  
チラ見してくる、Gカップおっぱいだぜー？ おちん  
ぽで独り占め出来ること、光栄に思えよ♪」

ナツキ191 「れるれる、れるれるれる♪ ちゅぶ、れるれるれる、  
れるれるれる♪」

ナツキ192 「くす♪ 幸せで精液のぼってきたか？ いいぜ？  
全部搾り出してやる♪」

ナツキ193 「はあむ♪ ちゅぶ、ちゅううう♪ れるれるれる♪  
ちゅぶ、ちゅう、ちゅうううう♪」

ローターが動く。

【ここから声が震える】

ナツキ194 「んっ♪ んんん♪ またあっ♪ んん♪ 自分がい  
きそうだからって、んん、いじわるう♪」

ナツキ195 「ぜってえ負けねえ♪ アタシのおっぱいに負け  
ろ♪」

『んっんっ』と喘ぎながら、ラストスパート。

ナツキ196

「あむ♪、じゅぶ、じゅぶ、じゅぽ、じゅぶ♪、ん♪、じゅぽ、じゅぽ、じゅぶ、じゅぶ♪、ほら、精液出しちまえ♪」

振動が強くなる。

ナツキ197

「えあああっ♪、ばか♪、強くすんなあ♪」

さらに振動が強くなる。

ナツキ198

「あっ、ああああっ!」

さらにさらに振動が強くなる。

(『あ、ああ』から声質低め)

ナツキ199

「ひああああ♪、あ、ああああ♪、は、はいい♪、精液全部飲みますうううう♪」

射精へ。射精中もローターは止まらない。

(できる限り早くピストンしながら『んっ

んっ♪』と声が漏れるイメージ)

ナツキ200

「はむっ♪、じゅぶ、じゅぶ、じゅぽ♪、ん♪、じゅぶ、じゅぶ、じゅぽ♪、んんっ♪」

ナツキ201

「(射精)んっ♪♪♪、ん、んんっ♪、んん♪、ん、んうう♪、ん、ん、んんっ♪、んっ♪、んっ♪、んっ♪、んんー♪」

ローターはまだ止まっていない。

口を閉じたまま、そのまま精液を飲み込む。

ナツキ202

「(離す)ちゅぶん……(喘ぎ)ん、んん♪、んん♪、んん♪、(飲み込む)んく、んく♪、んんっ、んく♪」





(まんざらでもないけど不機嫌そうに)

ナツキニ

「ちゅ……次言ったら舌嚙むからなっ……ちゅ♪  
れろ、ちゅ、れる♪ れる、ちゅ、ちゅー♪」

遠くで学校のチャイムが響く。

(フェードアウト)

---

(02-END 2785文字)

主人公の部屋。

ナツキ、問題が分からず貧乏ゆすり。

《◆正面/30cm》

ナツキ 212 「んー？ 分かんねえ。なんでエックスログエックス  
なんだよ」

主人公、数学の公式を書く。

ナツキ 213 「あゝなんか先生言ってたなあ」

ナツキ 214 「はいはいはい♪ はいはいはいはい♪ おっけー  
おっけー♪ なんだ簡単じゃねーか」

ナツキ、すらすらと数式を書く。

ナツキ 215 「ってことは……こうだろ♪」

ナツキ 216 「あ、忘れてた。プラス、シー……はい出来た♪」

よく出来ました。

ナツキ 217 「はは♪ さーんきゅっ♪」

ナツキ 218 「これでテスト範囲半分かあ。疲れた」

ナツキ 219 「そうだな。休憩すつか」

ナツキ 220 「はあ……」

主人公、ナツキの貧乏ゆすりが気になる。

ナツキ 221 「ん？ なんだよ」

ナツキ 222 「貧乏ゆすりしてわりいかよ」

(珍しく『可愛くない』と言われてこんがらが  
る)

ナツキ 223 「なっ！ 『可愛くない』って！ アタシのどこが可  
愛くねえんだよ！ あれ？ あ、ああ、そうだな。ア  
タシは可愛くねえよ。そうだ。そうだった」

ナツキ 224 「んだよその顔」

主人公、無理やりナツキに膝枕する。

《◆右/30cm 動きながら》

ナツキ 225 「あ、ちょ、ばかつ！ 太もも触んな変態！」

ナツキ 226 「誰が膝枕していいつつた！」

ナツキ 227 「はあ？ そりやまあ、これじゃ貧乏ゆすり出来ねえ  
けど、やり方強引過ぎんだろ。膝枕されてえだけじゃ  
ねーの」

うん。

ナツキ 228 「(照)うなずくなばかつ」

ナツキ、溜息をつきながらも頭なでなで。

ナツキ 229 「ったくもー……はあ」

なでなで。

ナツキ 230 「……(何度か呼吸)……」

ナツキ 231 「なんだよ」

ナツキ 232 「目の前に頭あったら、撫でるだろ。フツー」

ナツキ 233 「それともやめるか？」

ナツキ 234 「くす♪ 大人しく撫でられてろ。勉強教えてくれた  
おれだ」

ナツキ 235 「……（何度か呼吸）……」

ナツキ 236 「ん？ どうした？」

ナツキ 237 「『エッチしたい』？」

（清々しく）

ナツキ 238 「ああ、殴られてえのか♪」

ナツキ 239 「あーのーなあ、まだそういうタイミングじゃねえって何度言ったら分かんだよ」

ナツキ 240 「お前のことは悪くねえって思ってたけど……でも、なんか……アレだよ、アレ」

怖いんだあ。

ナツキ 241 「はあ？！ 怖くねえし！ 怖くねえから！ 逃げねえから！」

主人公、喋っている途中で股にもぐり込む。

ナツキ 242 「オメエ舐めてんな。アタシのことバカにしてつと——」

《◆正面/30cm 動きながら》

ナツキ 243 「ちょ、わっ、あ、ばかつ」

ナツキ 244 「ばかばかばか！」

ナツキ、主人公に女性器を舐められ喘ぐ。

【ここから快楽で声が震える】

ナツキ 245 「あっ♪ ああっ♪ 舐めんなっ！ ホントに舐めんなあ！ あああ、ああ♪」

ナツキ、主人公を引き離そうとする。

ナツキ246 「」んのお、離れろおお！ ん、んん♪ ああ、うあ、  
あああっ♪」

弱点を舐められて引き離せない。

ナツキ247 「おっ♪ おおお♪ そこ、やめろお♪ おお♪ そ  
こ♪ そこそこそこ♪ んはっ♪ 刺激、つえー、か、  
らあ♪ や、め♪ え、ええ♪ えああああ♪」

ナツキ248 「やばい♪ マジでやばい♪ これ、すぐ♪ ひ  
ああ♪ ああ♪」

ナツキ249 「は、はあ？ 苦しいとか、んっ、知らねえよお♪  
お、おおお♪ いきそうになると、足、ピンって、な  
るんだよお♪ わりいか♪」

ナツキ250 「んっ、んっ♪ へへ♪ 苦しいとか言つてよ、太も  
もに挟まれて、喜んでんじゃねーか、この変態♪ 窒  
息して死ね♪ 死ね、死ね♪ あっ♪ ごめんなさ  
い♪ いきます♪」

ナツキ、体をくねらせて絶頂。潮を吹く。

(声質低め)

ナツキ251 「おっ、おとおお♪ あっ、あっ、あああ♪  
へああああ♪ あああ……ああ……ああ♪」

【声の震えが収まっていく】

ナツキ252 「はあ、はあ、クンニやばあ。はあ、こんなイキ方す  
んだ……ああ……まだ気持ちいい……はあ、はあ」

ナツキ253 「てか、マジで窒息してねえよな」

主人公、ナツキの吹いた潮でびしょ濡れ。

ナツキ 254 「おーい、大丈夫か……ぷっ、あは♪ あはは♪ 顔

びっしょびしょ♪ あははは♪ 無理やり舐めるオ  
メエがわりいんじゃないか♪ ったく♪」

《◆正面／10cm》

ナツキ 255 「ほら。拭いてやつから、じつとしろ♪ くす♪」

タオルでふきふき。

ナツキ 256 「ん……ん……てか、ズボンも濡れてんじゃない」

ナツキ 257 「脱いじゃえ。今」

ナツキ 258 「目つむりながらも出来んだろ」

主人公、ズボンを脱ぐ。

ナツキ 259 「ん……パンツも」

パンツを脱ぐ。

ナツキ 260 「くす♪ なんでちんぽも濡れてんだよ。先っぽから  
だらあって、我慢汁出てんぞ?」

ナツキ、足で男性器をいじる。

ナツキ 261 「へへ♪ 足でいじめてやる♪ うりうり♪」

ナツキ 262 「こら♪ まだ拭いてつから、お前はそこで正座して  
ろ♪」

ナツキ 263 「で? こいつがアタシとエッチしたいつう変態ち  
んぽかあ? 足だけでいっちまいそうじゃねーか」

ナツキ 264 「足の指で、亀頭を、ぎゅっぎゅ♪」

ナツキ 265 「ははっ♪ こんなざこちんぽでエッチ出来んの?  
んー?」

ナツキ 266 「足裏エッチじゃなくて、おまんこエッチがいいのか？ どうしよっかなー♪」

ナツキ、男性器を激しく足でこする。

ナツキ 267 「じゃあさ、もうちょっと我慢してみろよ♪ ほら♪ ほーらあ♪ 足裏気持ちいいだろ？」

ナツキ 268 「女の子の足に、我慢汁がべったりついて、滑りが良くなってるの」

ナツキ 269 「んー？ くす♪ 出ちまいそうかー？ おまんこじゃなきや嫌かー？ んー♪ んー♪」

ナツキ 270 「しょうがねえなあ♪」

ナツキ、足攻めを止めて、タオルを取る。

ナツキ 271 「ほれ、拭き終わったぜ」

《◆右／耳元 ここから囁き》

ナツキ 272 「ちよつと手え貸せよ」

ナツキ、主人公に自分の女性器を触らせる。

ナツキ 273 「は、んっ♪ はあ♪ もっと指入れてみる♪ はあ、あ、あ♪ はああ♪ 分かるか？ ぐちゅぐちゅ、ん♪ 中、とろとろで、はあ♪ 切なそうに、お前の指しやぶってるだろ？ はあ♪」

ナツキ 274 「指じゃなくて、もっと大きいのが欲しいって、ちゅぱちゅぱしてるの♪」

ナツキ 275 「こっとなつたの、お前のせいだかな？ お前が無理矢理してきたから……んっ♪ だから、ちんぽ♪ お前のちんぽで、責任取れよ♪」



ナツキ、男性器を股にあてがう。

ナツキ276 「ほら、念願のおまんこだぞ？ 入れていいぜ」

挿入。

入れただけで軽く絶頂。

聞いてもないのに『いきました』とトロ声で報告。

ナツキ277 「あ、ああ♪ ちんぽ来るる♪ 変態ちんぽ♪

ああ♪ あああ、あああ（絶頂）あっ♪ あっ、あっ、  
はあ♪ んはあ、はあ……いきましたあ♪」

《◆正面/10cm ここから普通の声量》

ナツキ278 「はっ、今アタシなんつつた？！」

ナツキ279 「うう、お前のせいで変な口癖増えてんだよお」

ゆっくりディープキス。

《◆正面/0cm キス》

ナツキ280 「んん♪ ちゅ、れる、ちゅ、れろれる♪ ん、れる、  
ちゅぶ、れろ♪ ん、れえる、れる♪ ちゅれる♪」

《◆◆正面/10cm》

ナツキ281 「ふあ、はあ……ちよつと痛えけど、平気……勝手に  
動けよ」

主人公、ゆっくりピストン。

【ここから快樂で声が震える】

ナツキ282 「あっ、はあっ、ああっ、んっ、あっ♪ はあっ、  
はっ、へっ、えあっ、あっ、ああ、ああ♪」

ナツキ283 「へへ♪ お前、んっ、エロい声出てるぜ♪ あっ、  
あっ♪ もう余裕ねえの？ カッ」わりい♪」

そういうナツキも既にアへ声気味。

ナツキ284 「あ、ああ、あ、あああっ♪ は、あああ、ああ♪」

ナツキもエロい声出てるぞと言われ。

ナツキ285 「はあ？ アタシより、お前のほうがぜってえエロい声出してっから♪」

ナツキ286 「はっ、ああっ♪ お前のエロい声聞かされながらあ♪ ん、ちんぽ、おっ♪ 奥まで突かれてえ♪ ああっ♪ あっ♪ 何回、おまんこいきそうになってると思っただ♪ もうエロい声禁止な♪」

ナツキ287 「はあ、あっ♪ お、おっ♪ おっ、おお♪ あ、あ、ああ♪」

ナツキ288 「お前のせいだかな♪ お前のせいで、おまんこ、とろとろ、あっあっになっちゃった♪」

ナツキ289 「お前のちんぽに、ぎゅーって、ちゅぱちゅぱーって甘える、きつきつまんこになっちゃったんだぞ？」

ナツキ290 「もっとパコパコして、責任取れ♪ このざちんぽ♪」

ぱちゅん、ぱちゅん、とリズムミカルな動き。

リズムミカルに喘ぎながら、くちゆくちゅディープ  
キス。

《◆正面/0cm キス》

ナツキ 291

「んん♪ れろれろ、れろれる♪ ん、ん♪ ちゅ、  
ちゅぶ、れる♪ ちゅぶ、れえる、れる、れる♪ ん、  
ん♪ れる、れる、れる、ん、ん、んっ♪」

《◆正面/10cm》（声質低め）

ナツキ 292

「ああ、あ、あっ♪ やべえとこ、おっ♪ やべえと  
こ、こすれるう♪ そこ、そこそこお♪ そこ好  
き♪」

ナツキ 293

「は、あ、あ、あっ、あっ、あっ♪ また、吹きそう  
になっちまうう♪」

ピストンが少し早くなる。

ナツキ 294

「あつ、ああ、あつ、はあ、あ、あ、あつ♪」

主人公、男性器をいきなり引き抜く。

ナツキ、潮吹きしてしまう。

ナツキ 295

「ひああつ?! あ、ああ♪ いきなり抜くなあ♪

潮吹いちゃったじゃねえかあ♪」

喋ってる途中で追撃。

とても早くピストン。

ナツキ 296

「片づけんの、お前だかん——なつ♪ あああ♪ あ、あ、あ、あ、あ、あ、あああ、ひあああああ♪」

いきなり引き抜く。潮吹き。絶頂。

ナツキ 297

「あああつ♪♪ あつ、ああつ♪ う、あつ♪

ああ……♪ ふー♪ ふー♪」

余韻に浸っているところ、追撃。

ナツキ 298

「やばあ……ちんぽ抜くの、やばあ……潮吹き、止まんな——ああつ♪ も、ダメ♪ だめえ♪ あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、は、あつ♪ ああああああ♪ らめええええ♪ えあああああ♪」

引き抜く。潮吹き。深い絶頂。

(アクセントが揺れる)

ナツキ 299

「ああつ♪♪ はああ、はあ……いき、ましたあ……いきまし、たあ♪ だめ……ちんぽ、だ、め……も、だめ……やめ、て……はあ、やめ、ろ……はあ、はあ」

ナツキ 300

「休憩……一回休憩な……はあ、はあ、はあ♪」

二人、息を切らしながら優しいキス。

《◆正面/Occキス》

ナツキ 301 「ん♪ ちゅ、ちゅぶ♪ ふー♪ れる、ちゅ♪  
はあ、あむ♪ れる、れる♪ ちゅ♪ ちゅー♪」

【声の震えが収まっていく】

はあはあ言いながら喋る二人。

ナツキ 302 「はあ、はあ……初エツチで、こんなことするか？  
フツ」

ナツキ 303 「れる、ちゅ♪ やだ、許さねえ♪ んちゅ♪」  
ナツキ 304 「ぜってえ許さねえから♪ ちゅ、れる、れる♪」

主人公、体を擦りつけながら許しを乞う。

ナツキ 305 「んうう♪ こらあ♪ ちんぽこすりながら謝んな♪  
ちゅぶ、ちゅ♪」

ナツキ 306 「別に嫌いにはなんねえよ。お前とはまあ……しても  
いいかなって、思ってたし。ちゅ、れる」

ナツキ 307 「でも、中はだめだ。ぜってえ外。ちゅ、んちゅ」  
ナツキ 308 「そんな顔すんな。中出しは、まあ、そのうちさして  
やっから。な？」

ナツキ 309 「今日はそうだな……アタシの顔にぶっかけるっての  
はどうだ？ 興奮すんだろ？」

ナツキ 310 「いっぱい精液作って、たっぷりぶっかけてくれよ♪  
あゝって、口開けて待ってやっから♪ んちゅ♪」

ナツキ 311 「ほら、萎える前にちんぽ入れろ♪ 受け止めてやる  
よ。」

ゆっくり挿入。軽く絶頂。

《◆正面/10cm》

ナツキ 312 「あ、あ……あああ♪ は、あつ、あつ♪ あああ♪  
ふー♪ ふー♪」

ナツキ 313 「んだよ、言わせんの？ 分かったよ」

《◆左／耳元 囁き》

ナツキ 314 「いきましたあ♪ ちんぽ入れられて、また勝手に、  
おまんこ、いきましたあ♪」

《◆正面/10cm》（若干苦しそうに）

ナツキ 315 「うつわ♪ 中でもっとデカくなった♪ 奥ぐりぐり  
来てる♪」

ナツキ 316 「はあ♪ まだ動いてねえけど分かるわ♪ これ、  
ぜってえアタシを壊してくれるちんぽだ……♪」

ゆっくりと腰が引かれ、今にもピストンが始まる。

（小声）

ナツキ 317 「アタシ、終わった……♪ あ、ああ、あああ♪」  
ずぶんと奥まで挿入される。

そのまま、深く潰されるようなピストン運動。

完全にとろけた喘ぎ、ねっとりディープキス。

【ここから快樂で声が震える】

《◆正面/0cm キス》

ナツキ 318 「あつ♪♪ あああああ♪（キス）ん、んん♪ れる、  
じゅぷ、ん、あ、あ♪ れる、れる、ちゅ、ん♪ れ  
るれる、んちゅ、ちゅぷ、れる、れる、れる♪」

とろけた声。

《◆正面/10cm》

ナツキ 319 「気持ちいい♪ ちんぽ気持ちいい♪ お前とのエツ  
チ、あああ、だめになるうう♪」

より激しいピストン。

ナツキ 320 「あっ♪♪ あ、あ、あ、あ、あつ、ああ、あっ♪  
激し♪ へあ、あ、あ、あ♪ 壊れ、るうう♪ ひあ、  
あ、あ、あ、あ、ああああ♪ えああああ♪ あ、あ、  
はああああ♪」

《◆正面/0cm 『んんー』と狂いながらキス》

ナツキ 321 「んんん♪ れろ、じゅぶ、んん♪ ん、じゅぶ、ん  
ん、れる♪ んん、ちゅぶ、んん♪ あむっ、じゅぶ、  
れるれるる、ちゅぼ、んんん♪ ぶあ♪」

《◆正面/10cm》

絶頂へ。（『いぐ』で声質低め）

ナツキ 322 「も無理♪ 分かんない♪ 分かんない♪ あ、あ、  
へああああ♪ アタシも♪ お、お、お、おおお♪  
いい、いぐ、いぐいぐいぐ♪ いぐ♪ あっ、い  
ぐううう♪」

男性器が引き抜かれる。絶頂。

ナツキ 323 「あああっ♪♪♪」

主人公、ナツキの口に射精。

ナツキ、放心しながら口を開けて迎える。

《◆正面ト/30cm》

ナツキ 324 「ああゝ……♪ ああゝ……♪ あああゝ……♪」

ナツキ、優しいフェラで吸いだす。

ナツキ 325

「あむ♪ むちゅぶ、ちゅぽ、ちゅぽ♪ ちゅぶ、ちゅぶ♪ じゅるる♪ ちゅううう♪ ちゅぶん♪」

飲む。

ナツキ 326

「んー……んく、んく……んく……はあ、はあ」

余韻。疲れっぱなし。

【声の震えが収まっていく】

ナツキ 327

「ティッシュ取ってくれ。顔中べつとべとだ。はあ、はあ」

ナツキ、ティッシュで顔を拭く。

ナツキ 328

「激しすぎだよばーか♪ まんこずっと痙攣してるし。治んなかったらどーすんだよお」

ナツキ 329

「ほら、ちんぽも拭いてやる」

ナツキ 330

「あ、ティッシュで拭くより、フェラがいいか？」

ナツキ、優しくフェラ。

【「」から啜えながら喋る】

ナツキ 331

「はむ、れる、ちゅぶ、ちゅぽ、ちゅぶ、れる」

ナツキ 332

「ん、どしたー？ ちゅぶ、ちゅぽ」



可愛いよ。

ナツキ 333

「なっ！　だーからあ、アタシは可愛くねえよ！  
むー！」

ナツキ、照れながら激しくフェエする。

ナツキ 334

「じゅぶ、じゅぶ、じゅぼ、じゅぼ、じゅぼ♪」

ナツキ 335

「ははっ♪　仕返した、この♪　じゅぶ、じゅぶ、  
じゅぼ♪　じゅぶ、じゅぶ、じゅぼ♪　あははっ♪」

(03-END 3587 文字)

主人公、合鍵でナツキの家に上がる。

ナツキの部屋の前へ。

遠慮のない喘ぎ声がドア越しに聞こえる。

どうやら自慰をしている様子。

《◆正面/50cm》

ナツキ 336 「ああああ♪ はあ、あううう♪ あ、あ、んっ♪

はあ、あ、あ、ん、あああ♪」

ノックするが反応がない。

ナツキ 337 「気持ちいい♪ お前の、ああ♪ ちんぽ、気持ちい

いよお♪ は、あ、あ、ふっ、あ、あっ♪」

ナツキ 338 「いく♪ いく、いく♪（絶頂）あああああ♪」

ナツキ 339 「はあ、はあ……いきましたあ♪ いきましたあ♪」

もう一度ノックするが反応がない。

ナツキ 340 「はあ、はあ……おま、やめろよお♪ いきましたっ

て言っただろお♪ そんな、ずぼずぼしたら、あ、

また、吹いちまうう♪」

何度ノックしても反応がない。

ナツキは一人で盛り上がっている。

ナツキ 341 「あ、あ、あ、あ、は、あっ♪ あああ♪ だめえ♪  
おっ、おっ、おっ、おおお♪ はあ、はあ♪」

ナツキが絶頂、潮吹き。

と同時にドアが開く。

ナツキ 342 「いく、またいく♪ いくいくいく♪（絶頂）  
ああっ♪♪♪ あっ♪ あっ♪ ああ……  
あああ……♪」

とろ顔のナツキ。目の前に主人公。

ナツキ 343 「ああ………あ？ あああっ？！ なんでいんだ  
よ！？」

ナツキ、慌てて裸体を布団で隠す。

ナツキ 344 「ノックしろ変態！」

ナツキ 345 「した？ 嘘っけ！ 出てけよお」

主人公、近づいてノートを渡す。

《◆正面/30cm》

ナツキ 346 「なんだよ……はあ？ 授業のノート？ お前がま  
とめてくれたの？」

ナツキ 347 「あ、ああ………ありがとう」

風邪は大丈夫？

ナツキ 348 「お、おう。風邪は平気。熱下がったし」

ナツキ 349 「心配させてごめんな。明日は学校行けっから」

ナツキ 350 「うん。出てけとか言っでごめん。ありがとう」

ナツキ 351 「あはは♪ もう元気だから、大丈夫♪」

ナツキ 352 「じゃあ、また明日な♪」

主人公、帰る気がない。

ナツキ 353 「ん……また、明日な」

主人公、帰る気がない。

ナツキ 354 「（咳払い）……また明日な」

主人公、帰る気がない。

ナツキ 355 「出ていく気ねえなお前な」

ナツキ 356 「察せるだろ。今すげえ恥ずかしい状況なんだわ、ア  
タシ」

なんで風邪引いたの。

ナツキ 357 「なんだよ。そりやアタシだって風邪引くだろ」

ナツキ 358 「心当たり？（目そらす）ね、ねえよ？」

ナツキ 359 「んだよその顔。アタシが隠し事してるっての？ 証  
拠でもあんのかよー」

主人公、ナツキが布団に隠したバイブを奪う。

《◆正面/10cm 近づきながら、手を伸ばす感じ》

ナツキ 360 「あ、ばか、返せー」

ナツキ 361 「か、え、せ、よ」

ナツキ 362 「や、見りや分かんだろ。バイブだよバイブ。言わせ  
んな」

ナツキ、口を奪うようにキスされる。

《◆正面/0cmキス》

ナツキ 363 「もういいだろ、返せ、この、んんっ♪ ちゅぶ、れる♪ んっ♪ ちゅう♪」

ナツキ 364 「ばかあ♪ れる、ちゅ♪ れろ、れる♪ ちゅう、ちゅ♪」

《◆正面/10cm》

ナツキ 365 「んだよ、やりてえのか？ お前も風邪引いたらヤバイだろ」

《◆左/10cm 動きながら》

ナツキ 366 「ん……はあ」

ナツキ 367 「せめて場所変えねえか？」

ナツキ 368 「だって、目の前に鏡あるし、あんま見たくねえっつーか」

主人公、ナツキの脚を広げさせる。

ナツキ 369 「うああ？！ 脚広げせんな！ 人ん話聞け！ 恥ずかしい」

ナツキ 370 「うう、ピンク色とか言うな。キレイじゃねえっつの」

女性器をいじる。喘ぎは我慢気味。

ナツキ 371 「あつ、うあ♪ ああっ♪ ばか♪ は、あ、ああ♪ クリ、ひああ♪ は、はあ♪ あ、あっ♪」

ナツキ 372 「違う、んっ♪ お前にいじられて、んっ、ヒクヒクって、喜ぶわけねえだろ♪ 勘違いすんな♪」

主人公、バイブをあてがう。

ナツキ 373 「はあ、はあ……バイブ入れんのか？ 嫌って言うって  
も入れんذار、変態」

ナツキ 374 「別にいいけど、ゆつくりな？」

ぬぷぷ、とバイブが挿入される。

ナツキ、うなるような、我慢するような喘ぎ声。

ナツキ 375 「う……ううう……ふううう……♪」

（余裕が無さそう。喘ぎを我慢するように喋る）

ナツキ 376 「こいつな、頭の部分だけ、卵みてえに大きいから、  
一回にゆるんって入ると——んっ♪ んぁ♪  
あぁあ♪」

ナツキ 377 「へへ♪ ほら、手え離しても、抜けねえんだぜ？  
すげえバイブذار♪ はあ」

主人公、いきなりバイブのボタンを押す。

（『おっ♪』で、ビクッと少し動いてください）

ナツキ 378 「それでな、このボタンを押すと——おっ♪  
おおお♪ ばか♪ 最後まで話聞け♪ あ、あぁあ♪  
はぁあぁ♪」

ナツキ 379 「中でえ、卵がブルブルしてえ♪ 気持ちいいとこ、  
ぐりぐりって、攻めてくれんだよお」

ナツキ 380 「Gスポット、だっけ？ ううう♪ ずっとそこ、攻  
められてえ、あぁ、やべえのお♪」

ナツキ 381 「ん、ううう……ううううう♪ うううう♪」

ナツキ 382 「ううううう♪ はうううう、ううう♪」

ナツキ 383 「アタシ、変な声出てるかあ？ ううう、うううう♪  
いくの、我慢してんだよお♪ しょうがねえだ  
ろお♪」

ナツキ 384 「つーか、やっぱ恥ずかしい♪ 場所変えようぜ？  
な？ うううう♪ だめなのか？ いじわるう。うう、  
ううううう」

バイブのもう一つのボタンを押す。

クリトリスが責められて、ナツキの反応が変わる。

（『あつ、はあ』でうずくまるような動き）

ナツキ 385 「こっちのボタン？ や、こっちは触んな……触ん  
なっ——あつ、はああああ♪ あああ♪ あああ  
ああ♪」

（より声が揺れて余裕が無さそうに）

ナツキ 386 「こっちはあ♪ クリトリスう♪」

ナツキ 387 「すぐいっちゃうからあ、使わないようにしてんだ  
よお♪ ばかあ♪」

ナツキ 388 「ううううう♪ ううううう♪ あーもう♪ いき  
そお♪」

ナツキ、恥ずかしそうに足を伸ばす。

ナツキ 389 「足、ピンってなっちまうう♪ あんま見んな♪  
ううう♪」

ナツキ 390 「鏡越しに、足裏ピクピクするとこ、見るなあ♪」

(『いっぐ』で声質低め、うなるような)

ナツキ 391 「ああ、あああ、いく♪　いくいく♪　足伸ばして、  
いっぐ♪(絶頂)　うううう♪　うううううう♪」

ちゅぽん、とバイブが抜かれ、潮吹き。

ナツキ 392 「あっ?…　あああっ♪　あああああ♪　ふー♪  
ふー♪」

ナツキ 393 「潮、吹いたあ……鏡に、かかっちゃまったじゃねー  
かあ……ふー♪　ふー♪」

声を切らしながらも、今度はナツキが攻め。

ナツキ 394 「くっそお……お前もちんぽ出せ。どうせバカみてえ  
に勃起してんだろ」

主人公、ズボンを脱ぐ。

ナツキ 395 「ほら、早くっ」

ナツキ、すかさず男性器を咥える。

《◆正面下/30cm 動きながら》

ナツキ 396 「へへ♪　はあーむっ♪　お返ししてやる♪」

ナツキ 397 「ん、じゅぶ、じゅぽ、じゅぶ、じゅぶ♪　ん、じゅ  
ぶ、じゅぶ、じゅうう♪　れる、れる、れる、れ  
る♪」

ナツキ 398 「元と言えば、風邪引いたのはお前のせいだかん  
な……れるれるれる、ちゅぶ、れる」

ナツキ 399 「なんでって、そりゃあ……れえろ」

ナツキ 400 「この前、しただろ?　エッチ」



ナツキ401 「れるれる、れる……そんな時の感覚がさ、忘れらんなくて……はむ、ちゅう、ちゅぽ……人生で初めて、バ  
イブ買った♪」

ナツキ402 「れるれるれる♪ へへ♪」

ナツキ403 「んで、風呂上がりに一回だけ使おうかなって……その、なんつーか……お前とのエッチ、思い出しながら、してみたら……これがすげえ気持ちよくて」

ナツキ404 「えへへ……気づいたら……裸のまま……寝てた」

……。

ナツキ405 「んだよその顔！ どう考えてもお前のせいだろ！」

ナツキ406 「言いがかりじゃねえ。お前のせいだったらお前のせいだ。むー」

ナツキ、不服と言わんばかりにフェラで攻撃。

ナツキ407 「はむっ♪ じゅぶ、じゅぶ、じゅぶ、じゅぶ♪ このちんぽ入れられて、どんだけ狂わされたと思っただ♪」

ナツキ408 「ただじゃ帰さねえからな♪ じゅぶ、じゅぽ、じゅぶ♪」

(ゆっくり誘惑)

ナツキ409 「ちゅぽ♪ れえーろ♪ このおちんぽで、病み上がりの、あつあつおまんこ、かき回してくれよ♪  
な♪」

ナツキ、鏡の前に立つように言われる。

《◆正面/30cm 動きながら》

ナツキ 410 「なんだ？ 立ってしてえのか？」

ナツキ 411 「うう……鏡の前はいい加減嫌なんだが」

主人公、ナツキの部屋で何かを探す。

《◆左前/50cm》

ナツキ 412 「って、おい、人の部屋勝手にあさんな。何探して……」

猫耳カチューシャ。

ナツキ 413 「はあ……なんでそういうの見つけるかなあ」

《◆正面/30cm》

ナツキ 414 「猫耳のカチューシャ、文化祭で使ったやつだよ」

ナツキ 415 「これ付けねえと、ちんぽくれねえのか？」

ナツキ 416 「うう、終わったら殴らせる。貸せ」

ナツキ、猫耳をつける。照れる。

ナツキ 417 「ん……ほら、付けたぞ……早く」

ナツキ 418 「はあ？ おねだり？ はあ、分かったよ」

ナツキ、お尻を向けてねだる。

ナツキ 419 「んっ♪ ほらあ♪ 両手で、おまんこ広げてるぞ？  
後ろから、早く入れてくれ」

ナツキ、赤面しながら最大限に頑張る。

ナツキ 420 「その……えっと……ちんぽ、入れてほしい、にやあ……なんてー」

男性器がゆーっくりと挿入される。

《◆正面/10cm》

ナツキ421 「あ、あああ♪ ちんぽきたあ♪ なんだよ、こーいうのが好きなのかー？ 変態♪」

ナツキ422 「は、あああ……あああ……（絶頂）あっ♪  
ううう……ふー♪ ふー♪」

とろけた声で報告。

ナツキ423 「はい♪ いきましたあ♪ 勝手におまんこ、いきま  
したあ♪」

ナツキ424 「もつと……もつとずぼずぼしてくれ♪ 早くう♪」

《◆少し横を向く》

ナツキ425 「なんで動かねえんだよ」

ナツキ426 「うう、またそうやって意地悪するう」

ナツキ427 「中でちんぽ震えてんぞ？ お前だって我慢してるく  
せに♪」

ナツキ、息を漏らしながら立ちバック準備。

《◆正面/10cm 戻る》

ナツキ428 「（一呼吸）……」

ナツキ429 「いいぜ？ お前がたまらず、腰振りたくなるまで、  
エロおいこと、いっぱいしてやるよ♪」

ナツキ、自分でぐりぐりとお尻を動かす。

（ゆっくり動く）

ナツキ430 「ふ、う、はあ、ん♪ どうだ？ 自分の彼女に、  
んっ、お尻すりつけられんの、気持ちいいだろ」

ナツキ431 「円を描くみたいに……ふ、ううう……お尻、動かし  
て……あああ……やべえ……気持ちいいと」「い  
りゅってエグられて、すぐいっちまいそうになる」  
ナツキ432 「後ろからのちんぽ、角度やばくて、変な声出る  
な♪」

ナツキ433 「はあ、んはあ、はあ、ううう♪ ううううう♪」

ナツキ434 「気持ち良すぎて、倒れちまいそうだ♪ はあ」

ナツキ435 「な、なあ、後ろから抱きしめてくれないか？」

ナツキ436 「お前の大好きなおっぱい、鷲掴みにしていいからさ、  
力いっぱい、ぎゅーってしてくれよ♪」

ナツキ、ぎゅーっと抱きしめられる。

《◆左耳／耳元 移動しながら。ここから囁き》

ナツキ437 「ああああ♪ あっ、あっ、うううう……ふううう  
う♪」

ナツキ438 「密着感いい♪ ちんぽ奥にぴったり♪」

ナツキ439 「はあああ……全身密着して、お前が汗かいてんの、  
伝わってくるぜ♪」

照れ。

ナツキ440 「はああ、ああ……鏡越しに見ると、すげえ恥ずかし  
いな♪ 後ろから両腕で抱きしめられて、なんだか、  
お前に守られてるみてえだ♪ んう♪ えへへ♪」

ナツキ441 「え？ 照れてねえよ♪ うるせえ♪ ん、可愛いっ  
て言うなあ♪ マジ眼科いけ♪ ん、ううう♪」

ナツキ442 「可愛いって言われて、おまんこキュンキュンするわ  
けねえだろ♪ 勘違いすんなぞこちんぽ♪」

ナツキ443 「」の♪、」の♪ もつとぐりぐりしてやるう♪  
うう、ふうう♪ はあ、あああ♪ ああああ♪」

床にぼたぼたと液体が落ち始める。

ナツキ444 「ん、なんだこれ……床にぼたぼたって、なんか垂れてんだけど」

ナツキ445 「はは♪ これ、お前の我慢汁だろ♪」

お前のだろ。

ナツキ446 「いや♪ ぜってえお前の我慢汁だ♪ パコパコしたくて、ちんぽうずいてんだろお？」

主人公、ナツキの胸を触る。

ナツキ447 「んっ♪ なんだよ、おっぱい触るだけでいいのかー？」

乳首を摘ままれる。声を震わせて悶える。

《◆正面/10cm》（摘まれた時少しかがむ）

ナツキ448 「あ、ちよ、乳首ぎゅってすんなっ——ああああっ♪  
あ、あああああ♪」

ぼたぼた、ぴちゃぴちゃ、と液体が滴り落ちる。

ナツキ449 「あ……あああ……ばかあ♪」

ナツキ450 「うっ、うう♪ 乳首♪ 乳首だめ♪ おっ、おお♪  
おおお♪ かりかり、だめ♪ それ、切ないから♪  
おっ♪ ちんぽ、欲しくなるから、だめえ♪」

（気持ち上下にびくびく動く）

ナツキ451 「おっ、おお♪ おっ、おっ、おおお♪ お、  
おおお♪」

ナツキ452 「なあ、まだ腰振ってくんねえのか？」

ナツキ453 「じゃあ、とっておきのこと、言ってるよ」

《◆左耳／耳元 囁き》

ナツキ454 「今日は……たつぷり……中出し、していいにやつ」

《◆正面／10cm》

ナツキ455 「あはっ♪ ちんぽすげえ膨らんだ♪」

ナツキが話してる途中でいきなりピストン。

ナツキ456 「なんだよ♪ やつとやる気になっ——ひゃあ?…!♪  
あっ、あっ、あっ、あ、あ、ひっ、あっ♪ ばか♪  
いきなりは、反則だろお♪」

ナツキ457 「あっ、あっ、あ、あ、あああああ♪ いきまし  
たあ♪ いきましたあっ♪ あああああ♪ ひゃああ  
ああ♪」

ナツキ458 「いってるう♪ あああ♪ まんこ、しまってるか  
らあ♪ ちんぽ、こりゅこりゅ、やめ♪」

ナツキ459 「あ、あああ♪ えああ、えああああ♪ あっ、あっ、  
あっ、あ、あああ♪ はああ♪」

主人公、止まっって言われ止まる。

ナツキ、声を震わせながら息を整える。

ナツキ460 「い、一回止まって♪ 止まって♪ ホント止まっ  
て♪ おっ♪ は、はあ……ん、はあ、はあ」

ナツキ461 「いや、腰振れつつつたのはアタシだけどさ……まさ  
かこんな気持ちいいとは思わねえだろ」

ナツキ462 「めちやくちや潮吹きしたし、床びしょびしょじゃん。  
はあ、はあ」

ナツキ463 「なあ……もっと、ぎゅってしてくれるか？ お前に抱きしめられて、なんつか、すげえ幸せなんだよ」

ナツキ、抱きしめられる。

《◆左耳／耳元 囁き》

ナツキ464 「ん、はあ……えへへ」

ナツキ465 「鏡見てみ？ アタシら、汗だつくたく、繋がってるところから、なんかだらだら垂れてるし♪」

ナツキ466 「ちんぽとまんこ、相性ぴったりの、変態カップルって感じだな♪ はは♪」

ナツキ467 「つか、ずっとちんぽビクビクしてて、子宮がくすぐってえよ、ばか♪」

ナツキ468 「そろそろ動きてえのか？」

ナツキ469 「いいよ♪」

ナツキ470 「中出しぴゅっぴゅ、してほしい、にやつ♪」

いきなり腰を振り始める。

（突かれてから声質やや低め）

《◆正面／10cm》

ナツキ471 「はは……あんま調子のんないほうがいい——かあ♪

あ、あつ、あつ、あつ、ああ♪ だからあ、いきなり

は、やめ♪ おっ♪ おっ、おっ、おっ、おお

おおお♪」

ナツキ472 「はっ、へっ、へあ、はっ、はっ、ああ♪ はあ、

あつ、あつ、ああ♪」

ナツキ473

「はは♪ エロい音、響きまくってんなあ♪ あっ、あっ♪ むっちりなお尻と太ももが、いいクッションになってんだろお？」

ナツキ474

「ふっ、んっ♪ はあ、腰が当たるたびに、アタシのデカ尻が、ぷるんって揺れてんの♪ んっ♪ これ、ちんぽに効くかあ？」

ナツキ475

「精液のぼってきてんの、バレバレだぞ♪ はは♪」

ナツキ476

「はっ、んっ、んっ、はっ、あっ、あっ♪」

ナツキ477

「中出し♪ 中出し、する、にやっ♪ にや、にや♪ にやああ♪」

ラストスパート。あへあへ。

ナツキ478

「あっ♪ あ、は、あ、あ、あ、あ、あ、あっ♪

あああああ♪ ひああああ♪」

ナツキ479

「これ好き♪ 最後の好きいい♪ なんも分かんなくなっちゃうの好きいい♪」



(声質やや低め)

ナツキ480 「あああ、壊されるう♪ まんこ壊されるうう♪」

ナツキ481 「あ、あ、あ、あああ♪ へああ♪ あああああ♪」

ナツキ482 「いこ? 一緒にいこ? あああ、いく、いくいく、  
いくいぐいぐ♪ あああああ♪♪ いぐううう  
ううう♪♪♪」

深すぎる、暴力的な絶頂。前後不覚。

ナツキ483 「あっ♪ ああああ♪ あああああ♪ どぶどぶ来て  
る♪ ああああ♪ はああ♪ 子宮、いつぱい♪  
はあ♪ まだ、出て、あああ……はあ、はあ……  
あああ♪」

二人、へたり込む。

ナツキ484 「はあ、はあ……はあ、はあ……ああ」

息を切らしながら優しいキス。

《◆正面/0cm キス》

ナツキ485 「ちゅ、ちゅぶ、ちゅ……れる、ちゅ、ちゅぶ、  
ちゅっ♪」

ナツキ486 「気持ちよかったけどさ……むっちゃくちや恥ずかし  
かったよ、ばーか♪ 何がにやーだよ」

ナツキ487 「二度とこんなん被せんな……ん、ちゅ♪ 反省し  
る♪ むー♪」

ナツキ488 「ちゅ、れる、ちゅ♪ れるれる、ん、ちゅ♪」  
(フェードアウト)

ナツキの部屋。外は豪雨。

主人公とナツキがレースゲームで競い合っている。

コントローラーの操作音が部屋に響く。

(ゲームしながら喋る風)

《◆左/30cm 前方を向きながら》

ナツキ489 「まさか、お前が泊まることに、なるとは、なっ」

ナツキ490 「こんなに雨降るって、知らなかったのか、よっと」

ナツキ491 「いや、アタシも天気は見ねえけどさ」

ナツキ、こうらを食らう。

ナツキ492 「あ、この……ちっ」

ナツキ493 「つーか、ノート渡してさっさと帰りや、ほっ、こんなことにならなかったろ♪ ったく」

ナツキ494 「お、いいの出た♪ 食らえ♪」

主人公、コースアウト。

ナツキ495 「よしっ、よしよしよし……このまま……」

ナツキ、ゴール。

ナツキ496 「つしゃあ勝ったあ♪ フォウ♪ 敗北を知りてえ♪」

《◆左/30cm マイクに向く》

ナツキ497 「どーだ、強くなつたろ♪ おうおう、もつと褒めろ♪ あはは♪」

ナツキ498 「あ？ もう一回？ いいけど、明日学校だろ？」

ナツキ499 「大人のくせに夜更かしする気満々じゃん、小学生かよ」

ナツキ500 「じゃあさ……」

《◆左/0cm 小声》

ナツキ501 「何時まで、付き合ってくれんの？」

《◆左/10cm》

ナツキ502 「ほーん、言ったな？ じゃあ他のマップで遊ぼうぜー♪」

カウントに合わせてスタートダッシュを決める。

《◆左/30cm 前方を向きながら》

ナツキ503 「つしやあやるぞお……さん……にー、こー……………よし、スタートダッシュおっけー」

ナツキ504 「ん？ は？ なんでお前走ってねえの？」

ナツキ505 「舐めプ？ お前舐めプ？ 殺すぞ」

主人公、そろりそろりとナツキに近づく。

《◆正面/10cm》

ナツキ506 「な、なんだよ……お前も走れよ」

ナツキ507 「や、もうこのレースアタシの勝ちだろ、どう見ても」

ナツキ508 「は？ アタシがゴールするまで分からない？」

ナツキ 509 「くっそ、じゃあ意地でもゴールしてやる。負けたら  
漫画全巻なー♪ あはは、今決めたー♪」

主人公、ナツキの胸を触る。

（快楽を我慢するように喋る）

ナツキ 510 「ふ♪ うう♪ ばかつ♪ 胸触んな♪ あ、乳首、  
摘まむな、んっ♪ んっ♪ 落ちる！ 落ちるって！  
落ちる落ちる落ちる！ あーっ！」

主人公、今度は下着に手を入れ、女性器を触る。

ナツキ 511 「くそお……でもいいし、とにかくゴールすりや——  
あっ♪ ちょ♪ ああ♪ どこに手入れて、んっ♪」  
ナツキ 512 「ばかばか♪ 指入れんな、はあ、あああ♪」

ナツキ 513 「ふー♪ ふー♪ 我慢♪ 我慢ー♪」

ナツキ 514 「お前の指なんか、全然気持ちよく……ああ……ああ、  
いく……いくっ♪」

絶頂、伸ばした足がテーブルにぶつかる。

ナツキ 515 「あっ♪♪ いてっ」

ナツキ 516 「あはは♪ 足ぶつけちまった♪」

ナツキ 517 「やめろよこだとケガすっからあ♪」

ナツキ、主人公に口を奪われる。

《◆正面/OcMキス》

ナツキ 518 「あ、ちょ……んちゅ、ちゅ、れる、れる、ん  
ちゅ♪」

ナツキ 519 「走れねえだろ、んっ、ちゅぶ、ちゅ、れる、れるれ  
る♪ れる、ちゅぶ、れえろ、れる、れる♪」

ナツキ 520 「あーもうっ♪」

仕返しするような、攻めのキス。

ナツキ 521 「あむっ♪ れるれる、れろれる♪ ちゅう、ちゅぶ、ちゅ♪」

ナツキ 522 「知らねえよ、もうレースとかどうでもいい」

ナツキ 523 「はむっ、れる、れる、れる、れる♪」

ナツキ 524 「結局こうしてえただけだろ」

ナツキ 525 「うなずくなばか……♪」

攻めのキスから、だんだんゆっくり優しいキスに。

ナツキ 526 「ちゅ、れる♪ れえる、れる、ちゅぶ♪ れる、ちゅ……ちゅ、れる、ちゅ……ちゅう……ちゅ」

《◆正面／10cm》

ナツキ 527 「はあ……」

ナツキ、なんだか乙女。おそろおそろ口を開く。

ナツキ 528 「なあ、聞きたいことあんだけどさ」

ナツキ 529 「なんでそんなに、アタシのこと構うんだよ」

ナツキ 530 「だって、こういう喋り方だし、こういう見た目だし……なんでお前と一緒にいてくれんのか、分かんなくなるがあってさ」

ナツキ 531 「そりゃ、お前とゲームしたり、勉強教えてもらったりすんのは楽しいよ」

ナツキ 532 「お前がこうやって甘えてくんのも嬉しい」

ナツキ 533 「だから、ちんぽだの変態だの、お前が喜ぶことを言っ、応えてあげてるつもりだった」

ナツキ534 「でも、それって、アタシじゃなくても、出来るじゃねえかなって」

ナツキ535 「もっと女らしい女がいたら、お前はそっちを選ぶじゃねえかって、不安になるんだよ」

……。

ナツキ536 「女らしいって、なんだろうな」

ナツキ537 「なあ……こんなアタシを、なんで『可愛い』って言ってくれるの?」

……可愛いから。

ナツキ538 「んー? 答えになってねえじゃねーかよ」

ナツキ539 「可愛い女はクラスにいっぱいいるだろ?」

誰よりも……一番可愛いよ。

ナツキ540 「ん、アタシが……一番可愛いか?」

ナツキ541 「えへ……それ、他の女に言ったら、一発殴るじゃ済まねえからな」

ナツキ542 「じゃあ……その……これからも、『可愛い』って言ってくれるか?」

もちろん。

ナツキ543 「えへ……えへへ……♪」

ナツキ544 「やっぱ眼科行け♪ あはは♪」

《◆正面/Occ 嬉しみいちやらぶキス》

ナツキ545 「んー♪ ちゅぶ、れる、れる♪ れる、れる、れえる♪ ちゅ、れる、れる、ちゅ♪ ちゅうう♪ れる、ちゅぶ、れる、れえる、れる♪ ちゅう♪」

《◆正面／10cm》

ナツキ546 「なあ、今日はアタシが上になっていいか？」

ナツキ547 「ズボン、脱がしてやる」

ナツキ、主人公のズボンを脱がす。

《◆気持ち下向く》

ナツキ548 「ん……んん……」

ナツキ、すっかり勃起した男性器を見て笑う。

ナツキ549 「あっ……ははっ♪」

《◆マイクを向く》

ナツキ550 「すげえ元気じゃん」

ナツキ551 「あ、これ見りやあ、もっと元気になっかなあ」

ナツキ、服をめくる。

ナツキ552 「ん、服をめくりあげて……ほれ、最近また大きくなったんだぜ？ おっぱい♪ すげえだろ♪」

《◆正面／0cm 動きながら》

ナツキ553 「このまま密着してー」

ナツキ554 「えへへ、おっぱい潰れちったー♪」

ナツキ555 「どうだ？ 女の子って、すげえ柔らけえんだぜ？」

やわらかいキス。

ナツキ556 「れる、ちゅう♪ ちゅう、はあ♪ ん、ちゅう♪  
れえる、れえる♪ くちゅ、くちゅ♪ ちゅうう♪」

ナツキ557 「ちんぽすげえ当たってる……このまま腰下ろしたら、  
入っちまいそうだな……♪」

ナツキ558 「ん……ちゅう♪ れえる、ちゅ♪」

《◆正面／10cm》

ナツキ559 「なあ……もう入れていいか？ ちんぽ……お前のちんぽ……入れたい」

（ボーイッシュらしからぬ、一番可愛い声で）

ナツキ560 「お願い」

ナツキ561 「うん♪ 入れる♪」

ゆっくり、ずぶぶと挿入。

やっぱり絶頂する。

ナツキ562 「ふ……あ、あああ……ああ……は、ああああ♪

（絶頂）あっ♪ ああ、んっ、んっ♪ はあああ♪」

とろけた声で報告。

ナツキ563 「いきました♪ また勝手に、おまんこいきまし

たあ♪ ごめんなさい♪」

ナツキ、ぱちゅっぱちゅつと腰を打ち付ける。

ナツキ564 「お詫びに、腰動かすから……んっ♪ ほら……ほらあ」

ナツキ565 「は、ふっ、んっ、は……あ、はあ……ふっ、

はあ……んっ、はあ」

ナツキ566 「ごめんな……すぐいくまんこで、はあ、はあ……んっ、んっ、は、はあ……今日、なんかダメだ……おまんこ弱い……ごめん、またいく……いく♪」

ナツキ、ビクビクと静かに優しく絶頂。

ナツキ567 「はっ♪ う、ううう♪ ううう♪ はあ、

ううう♪」

ナツキ568 「はあ、はあ」



ナツキ、すぐ腰を振り始める。

ナツキ569 「ふ、んっ、は、はあ♪ ん、ふう♪」

ナツキ、抱きしめる

《◆左／耳元 ここから囁き》

ナツキ570 「いくたびに、まんこところとろになって……ん、

はあ……敏感になっちまってる♪ はあ、はあ」

ナツキ571 「でも、腰、ぜってえ止めねえから……ん、んっ♪

いきっぱなしの、とろとろ、きつきつおまんこの中で、  
おちんぼ、幸せになってくれ♪」

『んう♪』と甘イキをしながら、優しい耳舐め。

ナツキ572 「はあ……ん♪ れえる、れろ♪ れる、れる、れろ、

れるれる♪ んう、はあ、れえろ、れるれる♪ れる、  
れろ、はあ、れえる、れるれる♪」

耳舐め中に絶頂。

腰振りが止まる。

ナツキ573 「んっ、んんん♪ んん♪ ふー♪ ふー♪」

またすぐに動き出す。

ナツキ574 「ん♪ ん♪ れえる、れろ、ちゅぷれる♪ はあ、

れる、れる、れろ、れる♪」

ナツキ575 「へへ……バレたか」

ナツキ576 「また勝手に、おまんこいきました♪」

《◆右／耳元 動きながら》

ナツキ577 「（一呼吸）」

ナツキ578 「ちゃんと気持ちよくすっから、許して？」

腰を振りながら、優しい耳舐め。

ナツキ 579

「ああ……れえる、れるれる♪ れえら、れる、れる、れる♪ はあ、れえる、れるれる♪ ん、れる、ん、れる、れるれる♪」

ナツキ、余裕が無さそう。

ナツキ 580

「ごめん……腰震えて、うまく動けねえや」

ナツキ 581

「お尻持ち上げてさ、パコパコ、手伝ってくんね?」

主人公、ナツキのお尻を何度も打ち付ける。

(声質低めに)

《◆右前/10cm ここから普通の声量》

ナツキ 582

「そう。持ち上げて、そのまま下に——おっ♪  
おお♪ おっ、おお、おおお♪ ばか、強すぎ♪ あ、  
へあ、おっ、おっ、おお、おおお♪ ぱんぱん、強すぎ  
だっ♪ おっ♪ おおおあ♪ ばかあ♪」

《◆右/耳元 動きながら》

ナツキ 583

「はあ、はあ♪ 負けてたまるか♪」

快樂に溺れながら、辛うじて耳舐め。

ナツキ 584

「はあ、ああ♪ あ、あああ♪ あむ、れる、れる、  
ああ♪ はあ、れる、れるれる♪ あ、はあ、れる、  
れる、れる、ああ♪ れる、れる、れる♪」

一旦腰の動きが止まる。

《◆正面/10cm 動きながら》

ナツキ 585

「はあ、はあ♪」

ナツキ 586

「へへ、余裕ねえの？ 珍しいじゃん」

煽られて腰振り再開。ピストン早め。

ナツキ 587

「やっぱズーちんぽなんだよなー♪ あはは♪——

あっ♪♪ あっ、あ、あ、あっ♪ は、あっ、あっ、  
あああああ♪」

ナツキ 588

「もう出したいのか？ はあ、は、んっ♪ いいぜ？  
今日は、何回でも♪ んっ、んっ、はあ♪」

ナツキ 589

「アタシのお尻、思いっきり叩き下ろして、んっ♪  
一番奥、子宮に、ぴったりちんぽ当ててから、ど  
ぴゅってしろよ？」

ナツキ 590

「はあ、んっ、んっ♪」

ナツキ 591

「アタシも、子宮降ろして待ってっからさ♪ 気持ち  
いいおちんぽキス、いっぱいしようぜ♪」

早いピストンをしながらのキス。射精に近づく。

《◆正面/Occ リズミカルに喘ぎながらキス》

ナツキ 592

「んむ、ちゅ♪ ん、ん♪ ちゅ、ん、ん、ん♪ れ  
る、ちゅ、ん、ん♪ れる、れろ、ん、ん♪ ふ、ん、  
ん♪ ன்ன♪ れえる、れる、ちゅ、ん、ん♪」

ナツキ 593

「あ、あ、あ、あっ♪ 中出してくる♪ お前の精液く  
るう♪」

キスで口をふさがれたまま、大きい絶頂。射精。

ナツキ 594

「ん、ん、ん、ん、ん♪ れる、ん、ん、ん、ん、  
ん、ん、んっ♪ (絶頂) ன்னん♪♪♪ ன்ன♪  
ன்ன♪ ன்னう♪ んっ、んっ♪ ன்னん♪」

《◆正面/10cm》

ナツキ595 「はあ、はあ♪ びゆるっびゆるって♪ はあ、やばいのきてるう♪ ああ♪ 熱い♪ はあ♪ お前の、いっぱい感じる♪」

ナツキ596 「はあ、はあ……はあ……」

二人、とろけたキス。

《◆正面/0cm》

ナツキ597 「んー……ちゅぶ、ちゅうう……れえる、ちゅ……ちゅう、ちゅうう……れる、れえる……んちゅ」

見つめあう二人。

ナツキ、でれでれ。

《◆正面/10cm》

ナツキ598 「……大好き」

主人公、突然の言葉に少し固まる。

ナツキ599 「くす♪ どーした？ 珍しいか？」

ナツキ600 「まあ、面と向かって言うのは初めてかもな」

ナツキ601 「で？ 返事は？」

大好きだよ。

ナツキ 602 「ん……んふふ♪」

《◆正面/0cm キス》

ナツキ 603 「んー……ちゅう♪ れる、れろ、ちゅ♪」

ナツキ 604 「っーか、さっきよりちんぽデカくなってる……きつ  
っっ」

ナツキ 605 「なんだよお。女に告白されて、ちんぽ喜んじやった  
かあ？ お前のほうがよっぽど可愛いだろ」

ナツキ 606 「ん、ちゅ♪ なんか今日優しいし。変態モードは  
どーした？ れる、ちゅ」

ナツキ 607 「いい雰囲気だから、カッコつけてんの？ ざこちん  
ぽのクセに♪」

ナツキ 608 「えへへ♪ どんなにいい雰囲気にしてもさ、ちんぽ  
ガッチガチじゃん」

《◆左耳/耳元 囁き》

ナツキ 609 「なあ、いつものエッチ、したいんじゃないの？」

ナツキ 610 「アタシのこと、思いつきり喘がせて、分からせて、  
いきましたって言っても、腰振って……床がびっちゃ  
びちやになるまで、潮吹かせて……とろとろに壊れ  
ちまったアタシと、甘あい仲直りのキス」

ナツキ 611 「まさか、これで終わりじゃねえよなあ？」

ナツキ 612 「この程度でアタシのまんこがおちると思ってんの？  
孕ませられると思ってんの？ 甘すぎんだろ♪」

ナツキ、主人公に押し倒される。

《◆正面/10cm 動きながら》

ナツキ 613 「ん、あつ……」

ナツキ 614 「くす♪ 押し倒し方も全然乱暴じゃねえし、やっぱ  
なんか優しいなあ〜」

ナツキ 615 「おやおやあ？ 自称DS君、デレちゃったのか  
なあ？」

てめえ（笑）。

ナツキ 616 「あははは♪」

笑い声を塞がれるようにキス。

《◆正面/0cm キス》

ナツキ 617 「んむっ♪ んふふ♪ れる、ちゅぷ♪ ふふ♪  
ちゅれろ、れるれる♪ ちゅぷ、れるれるれる♪」

ナツキ 618 「はあ、はあ……」

ナツキ 619 「悔しかったら、孕ませてみるよ。このざこちんぽ」

ナツキ、強く押さえつけられる。

《◆正面/10cm》

ナツキ 620 「あ……ああ……ん」

ナツキ 621 「ちんぽ、膨らみすぎ♪」

ナツキ 622 「両手、押さえられて、逃げらんねえ……あああ、来  
る」

遠慮のないピストン。

ナツキ 623

「あっ♪♪♪ ああ♪ ああああああ♪ は、あっ、  
あっ、あっ、はっ、あっ♪ あっ、あっ、あっ、は、  
あっ、ああああああ♪」

ナツキ 624

「待て♪ 乳首一緒にいじんな♪ ぎゅってすんな♪  
それ、ほんと、すぐ♪ あああ、あああああ♪」

（『んっんっ』と喘ぎながら、無理やり口を塞が  
れるキス）

《◆正面/0cmキス》

ナツキ 625

「んん♪ じゅぶ、れる、じゅぽ♪ れら、れるれる  
れる、じゅぶ、れる♪ こちゅこちゅ、ん、  
ちゅっ♪」

《◆◆正面/10cm》（絶頂に向かって声質低く）

ナツキ 626

「うっうっう♪ あうううう♪ うっ、うっ、うっ、  
うっううう♪ へあああああ♪ 「めんなさい♪  
も、いきます♪ いき、いい、い、いきますっ♪」

絶頂。ピストンも少し止まる。

ナツキ 627

「おっ♪ おおお♪ おっおおお♪ お、おああ♪  
あああああ♪」

主人公、すぐにピストンを再開。

ナツキ628

「あ、あああ？！ 止まつへ♪ 止まつへええ♪  
えああああ♪ いきました♪ いきましたあ♪ いっ  
てる♪ いってるいってるう♪ 止まつ——」

ナツキ629

「（絶頂）あっ♪ あああ♪ うあ♪ あっ♪  
あっ♪ ああ……♪ はあ、はあ♪」

何度も何度も何度も絶頂。

ナツキ630

「いった♪ いったあ♪ いったいったいったあ♪  
はああああ♪ また、あっ♪ いっ♪♪ いきまし  
た♪ あっ♪♪ いき♪ いきま♪ おっ♪ いき♪  
いっ♪ いき、いきっ♪ いっ♪♪ いっ♪♪♪  
あああ！ もういっぱい、いきましたあ♪  
ひああああ♪」

ろれつが回らない。

ナツキ631

「『めんな、ひやい♪』『めんなひやいっ♪ おちん  
ぽ、も、気持ち良すぎて♪ あっ、いき♪ あああ♪  
いくの、とまんな、れす♪』『めんなはいいい♪」

ナツキ632

「また、いきっ♪ いっ♪ いきまひたあっ♪  
ひやああ♪ こわれ、こわ、壊れひやう♪」

ナツキ633

「あ、ああああ♪ あああああ♪ は、あああ  
ああ♪」



(「ここから射精まで、へろへろに声が震えて、ろれつ回らない風に」)

ナツキ 634 「はいい♪ おちんぼ♪ おちんぼ大好きです♪ 毎日おちんぼされたいです♪」

ナツキ 635 「いっぱい大好きって言われてえ、ぎゅーってされてえ、かつこいいおちんぼで、いっぱい、いっぱい、おまんこぐちゃぐちゃに、されたいです♪」

ナツキ 636 「だから♪ だからあ♪」

ナツキ 637 「……アタシのこと、孕ませてください♪」  
一番激しいピストン。射精へ。

(絶頂に向かって声質低く)

ナツキ 638 「あ、あ、あ、あ、あ、は、あ、あ♪ あああああ♪ 一番やばいのくるう♪ ああああ♪ ひあああ♪ いぐ、いぐいぐいぐいぐう♪ いぎますっ♪♪♪ (絶頂) おっ♪♪♪ おおおおおお♪」

深すぎる絶頂。息をするのがやっと。

ナツキ 639 「ああああ♪♪ びゆるうう、びゆるううって♪  
ああああ♪♪ 出すぎい♪ はあ、ああああ♪♪ もう要らない♪ あああ♪」

ナツキ 640 「それ以上出したらあ♪ あああ♪ また、ひぐうう♪♪ (絶頂) おっ♪♪ おおお♪ おおお♪ あああ……♪」

ナツキ 641 「はあ、はあ……あああ……はあ、はあ」  
(アクセントが崩れる)

ナツキ 642 「いき、まし、たあ……孕みまし、たあ……♪」

優しいキス。

《◆正面/0cmキス》

ナツキ 643 「んー……ちゅ、ちゅう……れる、ちゅ……  
ちゅう……ちゅ、ちゅ……ちゅうう♪」

《◆正面/10cm》（疲れ気味）

ナツキ 644 「くす♪ ホントに孕んだかは分かんねーよ」  
ナツキ 645 「でも、お腹ん中、すげえ熱い」  
ナツキ 646 「マジ出しすぎだろ」

ナツキ 647 「へへ……お互いお疲れさん」

ナツキ 648 「今日はもう立てねえや。下半身がずっとビリビリしてんの」

ナツキ 649 「いや、痛くはねえけど。ずっと気持ちいい♪」

ナツキ 650 「お前はどーなの。腰大丈夫？」

ナツキ 651 「バンバンバン！ ってすげえ音出た。通報されなきゃいいけど、あはは♪」

《◆正面/0cmキス》

ナツキ 652 「ん、ちゅ、ちゅ……ちゅう」

見つめあう。

ナツキ 653 「……やっぱなんか恥ずかしい」

ナツキ 654 「アタシ、変なこと言ってたよな」

ナツキ 655 「んー……全部お前のせいっ……えへへ」

ナツキ 656 「んー……ちゅう……ちゅ、ちゅう……れる、ちゅ」

ナツキ 657 「ん……なあ、いつ小さくなんの？」

ナツキ 658 「まさか、やる気じゃないよな」

する？

ナツキ 659 「おーいー、明日学校だろー？ お前が寝坊したら一番まずいだろ」

ナツキ 660 「え、やだ、起こさねえ。アタシだけ学校行く。お前だけ遅刻♪ くすくす♪」

ナツキ 661 「ん、ちゅ♪ んー？」

ナツキ 662 「ちゅ、ちゅ♪ 困ったちんぽだなあ」

ナツキ 663 「じゃあさ……」

《◆左／耳元 囁き》

ナツキ 664 「何時まで、付き合ってくれんの？」

ナツキ 665 「くす……いいよ♪」

ナツキ 666 「今夜はよろしくな♪ せーんせ♪」

(05-END 4669文字)

(ALL-END 18470文字)

